

令和 2 年度司法書士試験分析会

担当 三枝りょう

1 はじめに

年度	受験申請者数（出願者数）	前年比
02	14,431 名	▲2380 名
31	16,811 名	▲ 857 名
30	17,668 名	▲1163 名
29	18,831 名	▲1529 名
28	20,360 名	▲1394 名
27	21,754 名	▲2784 名
26	24,538 名	▲2862 名
25	27,400 名	▲1979 名
24	29,379 名	▲1849 名
23	31,228 名	▲1938 名
22	33,166 名	
21	32,558 名	
20	33,007 名	
19	32,469 名	
18	31,878 名	

< 択一問題形式（午前） >

	組合せ	単純正誤	個数算定	判旨	参考条文	推論型	備考
02	35	0	0	17	5	0	
31	31	4	0	21	2	1	
30	32	3	0	26	3	0	
29	30	4	1	19	1	0	
28	28	5	2	21	1	0	
27	33	0	2	20	1	0	6 問肢 2 行目訂正
26	29	1	5	21	6	2	
25	30	2	3	21	1	3	
24	27	5	3	25	1	1	
23	31	2	2	17	2	3	
22	30	1	4	15	3	5	33 問正解 2 つ
21	33	2	0	19	8	8	
20	35	0	0	14	3	7	
19	34	1	0	13	1	4	

< 択一問題形式（午後） >

	組合せ	単純正誤	個数算定	判旨	参考条文	推論型	備考
02	34	1	0	6	0	0	
31	35	0	0	3	2	0	
30	35	0	0	5	2	0	
29	34	1	0	3	1	0	
28	33	1	1	6	3	0	
27	29	3	3	3	0	0	
26	27	1	7	7	1	0	
25	28	5	2	5	2	0	
24	29	3	3	2	0	1	
23	31	2	2	2	4	0	
22	32	0	3	1	1	1	9 問正解なし 35 問訂正
21	30	2	3	3	4	1	
20	33	0	2	2	2	2	29 問正解 2 つ
19	32	1	2	2	0	0	

2 午前択一

2-1 特記事項

- すべて組み合わせ型問題かつ知識問題
- 刑法を除く全科目通じて短文の出題が多かった。

2-2 憲法

1	人権各論	表現の自由	
2	人権各論	法定の手続の保障	
3	統治機構	司法権	

【ポイント】

第1問をスピーディに正解に達することができたか
取るべき問題 1, 3

2-3 民法 総則

4	総則(人)	不在者の財産管理及び失踪宣告	
5	総則(代理)	無権代理と相続	
6	総則(条件・期限)	条件と期限	対話

【ポイント】

すべて時間をかけずに解くことができたか
取るべき問題 4, 5, 6

2-4 民法 物権総論・用益物権

7	物権	不動産物権変動	
8	物権	占有権	
9	物権	相隣関係	
10	物権	共有	

【ポイント】

本分野からは4問出題(昨年は5問)
用益権からの「出題なし」は、2年連続
取るべき問題 7, 9, 10

2－5 民法 担保物権

11	担保物権	不動産保存の先取特権	対話
12	担保物権	動産質権	
13	担保物権	抵当権の効力	
14	担保物権	抵当権の消滅	
15	担保物権	集合動産譲渡担保権	

【ポイント】

取るべき問題 11, 12, 13, 14

2－6 民法 債権総論・各論

16	債権総論	保証人に対する情報提供義務	対話
17	債権総論	定型約款	
18	債権各論	解約手付が授受された売買契約	対話
19	債権各論	消費貸借	

【ポイント】

債権総論各論から2問ずつで例年どおり

第16問, 17問が改正論点で難しいが, いかにすぐに諦められるか

取るべき問題 18, 19

2－7 民法 親族・相続

20	親族	協議離婚と親権	
21	親族	成年後見制度	
22	相続	相続の承認及び放棄	
23	相続	遺言	

【ポイント】

親族2問・相続2問は, 例年どおり

取るべき問題 21, 22, 23

2－8 刑法

24	刑法総論	責任	
25	刑法総論	未遂	
26	刑法各論	詐欺罪	

【ポイント】

長文問題が多い

取るべき問題 24, 25 又は 26

2－9 会社法・商法

27	設立	発起人等の責任	
28	株式	公開会社における募集株式の発行	
29	機関	取締役の任期	
30	機関	監査役会設置会社の会計監査人	
31	解散清算	株式会社の解散及び清算	
32	持分会社	持分会社	
33	社債	株式と社債の異同	
34	組織再編	吸収分割	
35	商行為	匿名組合	

【ポイント】

取るべき問題 28, 29, 31, 32, 33

3 午後択一

3-1 特記事項

- 16問を除き、すべて組み合わせ型問題、推論型問題なし
- 不登法以降に長文問題が多い

3-2 民事訴訟法，民事執行法，民事保全法

1	民訴	送達	送達	判例の趣旨
2	民訴	口頭弁論	弁論主義	判例の趣旨
3	民訴	証拠	争点及び証拠の整理手続	
4	民訴	証拠	証拠保全	
5	民訴	訴訟の終了	既判力	判例の趣旨
6	民保	保全命令	保全命令	
7	民執	全般	民事執行	対話

【ポイント】

民事執行法・民事保全法は、不服申立の分野の出題なし
取るべき問題 1, 2, 3, 6

3-3 司法書士法

8	司法書士	司法書士(欠格事由メイン)	
---	------	---------------	--

【ポイント】

昨年に続き珍しい分野からの出題
取るべき問題 8

3-4 供託法

9	供託手続	オンラインによる供託手続	
10	各論	弁済供託	判例の趣旨
11	各論	担保(保証)供託	

【ポイント】

例年よりは難度が高い
取るべき問題 10, 11

3-5 不動産登記法（その1）

12	付記登記によってするもの	
13	ある登記の前提として申請すべき登記	
14	代位による登記	判例の趣旨
15	添付情報	
16	公務員が職務上作成した住所証明情報	単純正誤
17	登記名義人氏名・住所の変更・更正登記	

【ポイント】

第14問，15問，16問が取れたか否か

取るべき問題 12，13，17

3-6 不動産登記法（その2）

18	共有名義の土地の持分放棄	対話
19	相続による所有権の登記	判例の趣旨
20	一定の期間又は期日を登記事項とする登記	
21	抵当権の登記	

【ポイント】

第19問が取れたか否か

取るべき問題 18，19，20，

3-7 不動産登記法（その3）

22	処分禁止の仮処分による登記	
23	仮登記（移転請求権仮登記メイン）	
24	単独申請	空欄補充
25	審査請求	
26	登記原因について第三者の許可承諾情報（会社と取締役との利益相反）	
27	登録免許税	

【ポイント】

第24問は解きにくい（解き方が分かりにくい）

第22問，26問が取れたか否か

取るべき問題 23，25，27

3－8 商業登記法

28	総論	商業登記制度	
29	機関	役員等の変更登記	
30	株式	非公開会社の募集株式の発行の登記	
31	計算	資本金の額の変更登記	
32	解散清算	解散した株式会社・特例有限会社・合同会社の登記	
33	組織再編	株式会社の組織再編の登記	
34	持分会社	持分会社の登記	
35	法人登記	法人の登記	

【ポイント】

設立からの出題なし

全体的に難問が多い

第 34 問が取れたか否か

取るべき問題 29, 31

4 記述式

別紙参照